

授業改善推進プラン < 技術・家庭 >

(技術・家庭) 科における令和4年度授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

- ・ ICT機器を活用することで、前時の学習内容を短時間で確認すると共に、作業内容を分かりやすく伝えることに効果的であった。
- ・ 家庭や地域社会との連携においては、地域の施設を活用させていただき、区のものづくり競技会に参加することで、実践的体験を行うことができた。
- ・ すべての題材に意欲をもたせることや、見通しを立てて最後まで取り組む姿勢を育てていくことが課題である。

(技術・家庭) 科における調査結果の分析

分野別結果の分析	<p>○技術分野に関して 実習に対して意欲的に取り組む生徒が多い。しかし、生物育成やものづくりの経験が少なく作業の見通しがたたない。そのため上手にできない生徒もいる。動画等を活用してポイントが理解できるように配慮する必要がある。</p> <p>○家庭分野に関して どの題材にも熱心に取り組もうとする姿勢ができてきているが、最後までその意欲を継続できない生徒もいる。また、学んだことを生活に生かせるよう実践的、体験的な学習する機会をこれまで以上に設ける必要がある。</p>
観点別結果の分析	<p>○「関心・意欲・態度」について個人差はあるが、全体的に意欲は高い。学習意欲を喚起するために、3学年の実技の授業で少人数授業を取り入れたことは効果的であった。</p> <p>○「生活を工夫し創造する能力」について、ものづくりでは作品を工夫しようとする力は育ってきているが、生活を工夫し生かしていくまでには至っていない。</p> <p>○「生活の技能」について、基礎的な技能は身につけてきている。しかし、生活に活用する力は不十分である。</p> <p>○「知識・理解」について、定着した知識を身につけるまでには至っていないので、反復学習の必要がある。</p>

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」になる学習展開の工夫
- ・ ICTを活用した授業

調査結果に基づいた授業改善のポイント

(技術・家庭) 科の授業改善策

- ・ 学習したことを、生活に生かせるよう主体的・対話的な学習を増やしていきながら、自分の生活を見つめる時間を確保していく。
- ・ 各題材で持続可能社会の構築がめざせるよう、技術と社会・環境とのかかわりに関連づけながら授業展開をしていく。

- ・ 題材により知識の定着に差があることから反復学習ができるようにすることと、自ら学習の振り返りが出来るようにする。更により効果的に ICT 機器を活用した授業を行っていきたい。